



藤花杯の
バスケットボール大会でのコマ。
監督の話に子供たちも真剣。
負けられない、
誰だって勝ちたい。ガンバレ!



『徳島の夏』といえば阿波踊り。
女踊りは、上品で艶っぽく、
いつ見ても心づかゆる。
おめまのリズムを聞いてると、
一緒に踊りたくなった。



石井駅前新しい道路ができた。
ちょっとした道路でも有ると無いとでは大違い。
こうして人々の暮らしは、
どんどん便利になっていくだろう。



ドーン、ドーンと大きな音が
町中に響き渡り、
大輪の花が夜空に咲いた。
歓声を上げることも忘れ、
みんなホカンと口を開けて
夜空を見上げていた。



つる性の植物を軒先などに植えて、
緑のカーテンを作っているのを見た。
個人でできるエコ活動のひとつだ。
来年は、朝顔のカーテンづくりに
挑戦してみようかな。



地福寺では、樹齢200年余りの紫藤の花が、
日の光を浴びてキラキラしながら風にたなびいていた。
長い間、人も楽しませてきた藤の花からは、
可憐さだけでなく、時間の重みも感じられた。

吉野川の土手も車で走って
いると、鮮やかな黄色が目
飛び込んできた。菜の花は、
春を告げる花の代名詞。



野鳥の森で、メジロも見つけた。
足音で逃げないように
そっと近づいて撮影に成功。
最近見る機会の少なくなったメジロは
驚よりも『ウガイス色』だった。



農大へお花見に行った。
人は、お花見に行くと、お酒で酔うけれど、
ニニの桜は、見つめているだけで、
桜に酔ってしまいそう。

街角探訪日記

● 石井流の時間

～流れのまま、気の向くまま～

石井町にはゆっくりとした時間が流れている。
川のせせらぎや、そよ風の薫りに
心が洗われる。
太陽の光や、月の満ち欠けは
気持ちも新たにしてくれる。
一見どこにもあるような風景も、
石井ならではの吉野川があり、
石井だから吹く風があり、
太陽も月も石井でみるとまた違ったものに
見えるのです。
こんな大きな自然と向き合えることは、
とても素晴らしいこと。
だから人の表情も、まちの表情も、
いつも笑顔のまま。